



*** ** 環境への取組み *** **

当社は、「自然と調和した資源の活用と再生を考え、美しい地球の環境保全に努める。」という経営理念に基づき、環境方針を定め、事業活動及び製品の全てに適用した環境マネジメントシステムの継続的な維持・改善を図りつつ、全員参加の活動により地球環境の保護と環境汚染防止に取り組めます。

環境方針

ニッキグループは地球環境の保全と汚染の防止に取り組めます。

1. 環境保全及び汚染防止の活動を推進します。
 - (1)工場やオフィスで使用するエネルギーや有害化学物質の削減に努めます。
 - (2)環境に配慮した商品の提供に努め、製品ライフサイクルアセスメントを推進します。
 - (3)環境保全活動に関する情報開示と地域社会とのコミュニケーションに努めます。
2. 法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守するとともに、必要に応じ自主的な基準を設定し、健全で快適な環境の確保に努めます。
3. 事業活動の諸条件を反映した目的・目標を定め運用し、更にその実施状況を定期的に評価・見直しを行います。
4. 環境パフォーマンス向上のため、定期的に内部監査・マネジメントレビューを行い、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
5. 教育及び啓蒙活動を通じ全要員に周知徹底します。

株式会社 **ニッキ**

代表取締役社長 和田 孝

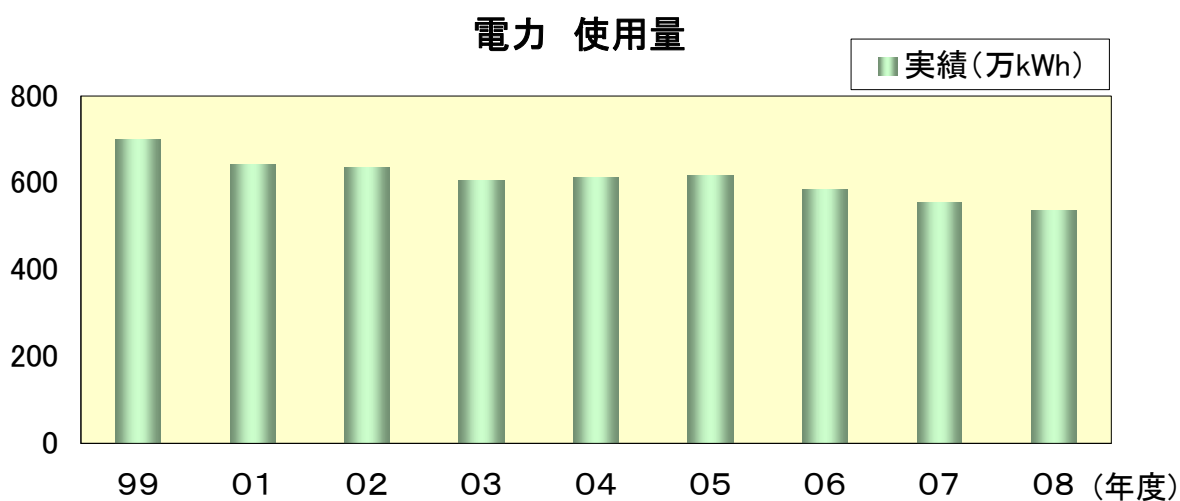
*** (2008年度)環境への取組みの概要 ***

活動1: 地球温暖化の防止

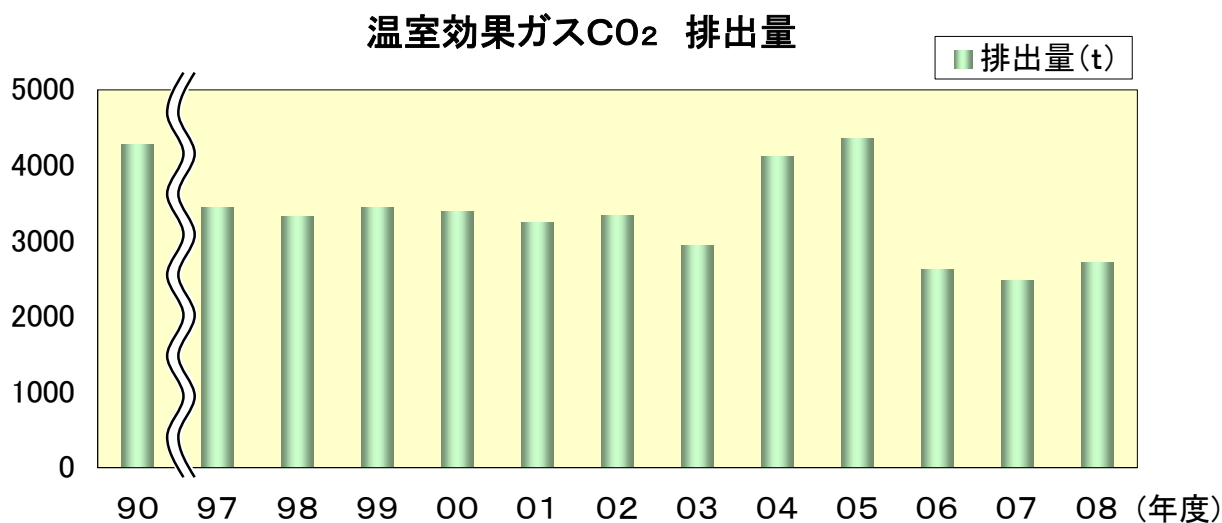
■ 電力使用量の削減

当社では、地球温暖化防止対策として、事業活動による主要な使用エネルギー源である電力の使用量削減を中心に取り組み、毎年前年比1%削減を目標に活動してまいりました。

主な活動は、省エネチェックシートを活用した全社的な電力の適正な管理の徹底を始め、空調設備、実験設備及び製造設備の使用方法を改善してまいりました。その結果、2008年度の使用量は、1999年度比で約23%削減することができました。引き続き継続的な改善により、エネルギーの削減活動に取り組んでまいります。



なお、2008年度の使用エネルギーによる温室効果ガスCO₂排出量は2,720tでした。省エネ活動により、1999年度より約37%削減することができました。



活動2: 資源の節約と再利用の促進

■ 廃棄物の削減、リユース、リサイクル

当社は「廃棄物の削減・リユース・リサイクルと適正処理」の継続的な推進のために、「分ければ資源、捨てればただのゴミ」を合い言葉に、廃棄物の分別を徹底する活動に取り組んでおります。分別された廃棄物は、リユースやリサイクル資源として有効活用され、焼却・埋立て廃棄物の削減につながりました。

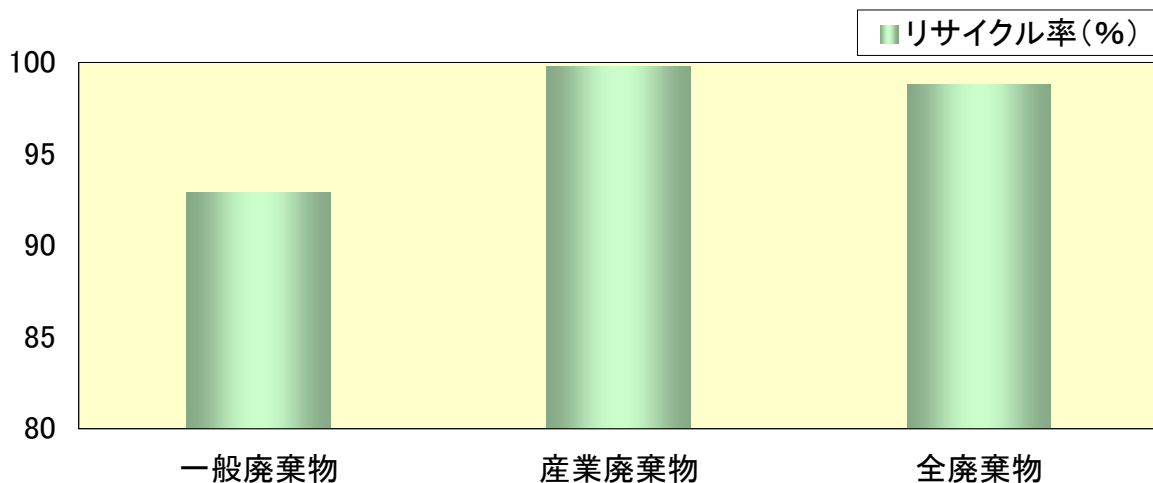
● 2008年度「ゼロエミッション」達成

当社は、工場から排出される全廃棄物のリサイクル率が95%以上を「ゼロエミッション」と定義しております。

当社はゼロエミッション活動に取り組んでおります。2008年度は工場から排出される全廃棄物のリサイクル率98.8%を達成し、「ゼロエミッション工場宣言」をすることができました。

当社のゼロエミッションの基本は達成すれば終わりではなく、ゼロエミッション活動を継続し、限りなく廃棄物「0」へ近づけることが重要であると考えます。その為に達成の確認だけでなくISO 14001活動と連携し、日常業務として取り組んでまいります。今後も資源の節約と再利用の促進に努め、環境にやさしい企業を目指して参ります。

08年度廃棄物 リサイクル率



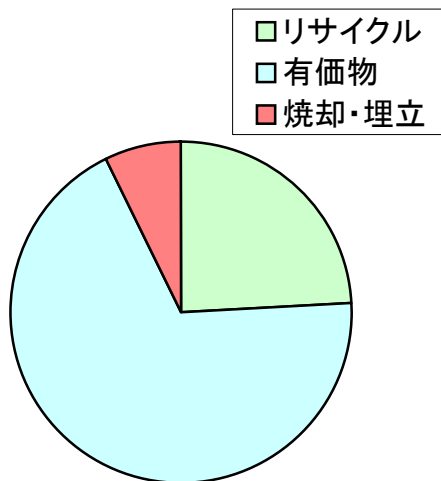
●一般廃棄物及び産業廃棄物

一般廃棄物のリサイクル率は95%以上を目標に取り組んでまいりました。その結果、2008年度は92.9%となりました。目標を達成することはできませんでしたが、「焼却ごみ」においては、前年比約49%（約4トン）の削減となりました。

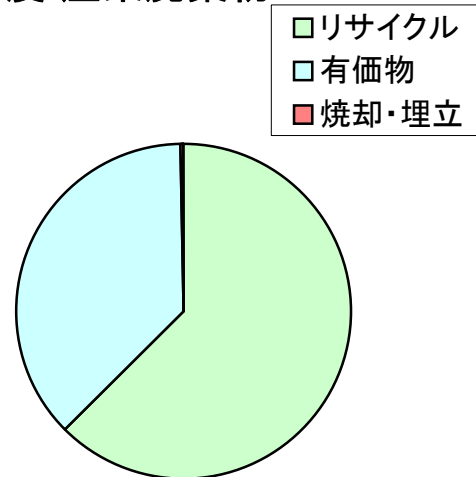
産業廃棄物のリサイクル率は95%以上を維持する活動に取り組んでまいりました。その結果、2008年度は99.8%となり目標を達成することができました。これは「汚泥」のリサイクル化が進んだことが目標達成の主な要因です。

引き続き分別の徹底とリサイクル化を進め、リサイクル率の維持向上に取り組んでまいります。

08年度 一般廃棄物



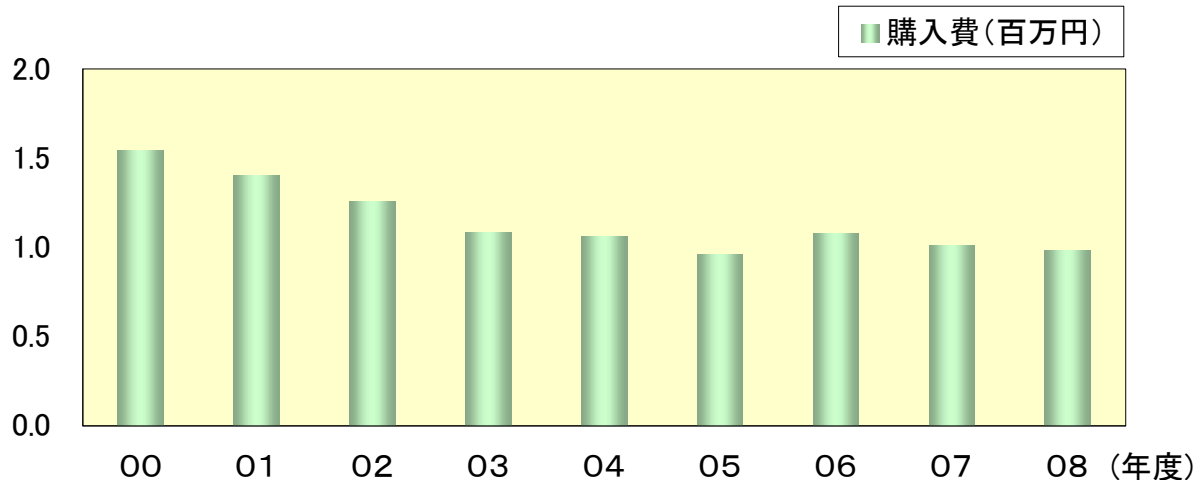
08年度 産業廃棄物



●印刷用紙

一般廃棄物の中でも紙資源にされる印刷用紙は、紙資源としてリサイクルされる前にリユースとして裏面印刷の再使用を徹底しております。その結果、2008年度の印刷用紙購入費は、OA機器の有効活用との相乗効果により、2000年度比で約36%の削減することができました。

印刷用紙 購入費



■地域活動

ニッキが立地する神奈川県内陸工業団地協同組合が推進している「工業団地ゼロエミッション事業」に積極的に参画し、再資源化推進チームで活動しております。引き続き「ゼロエミッション活動」に参画し、分別と再資源化の効率化及び資源の節約と再利用の促進を図ってまいります。

また、2008年4月より、内陸工業団地協同組合の「ペットボトルキャップ共同回収」に参加しております。この活動は、ペットボトルキャップの対価で世界の子供たちにワクチンを寄付し救おうというものです。2008年度は、約1万7千個のペットボトルキャップを共同回収しました。これは世界のこどもたち169人分のワクチンに相当します。



活動3: 汚染の予防①

■工場廃液、油脂類流出の未然防止

排水口の監視・測定を定期的に行うとともに、環境への重大な影響が発生する可能性を明確にして、それに対応するための処置及び予防について定め、定期的にその対応教育訓練を実施いたしました。引き続き、監視・測定の徹底と流出防止の教育訓練を実施し、汚染の予防に取り組んでまいります。

上記の活動と平行し、河川への流出防止として公共下水道への排水接続を順次進めており、2006年度に1箇所、2007年度に1箇所接続を完了いたしました。

活動4:汚染の予防②

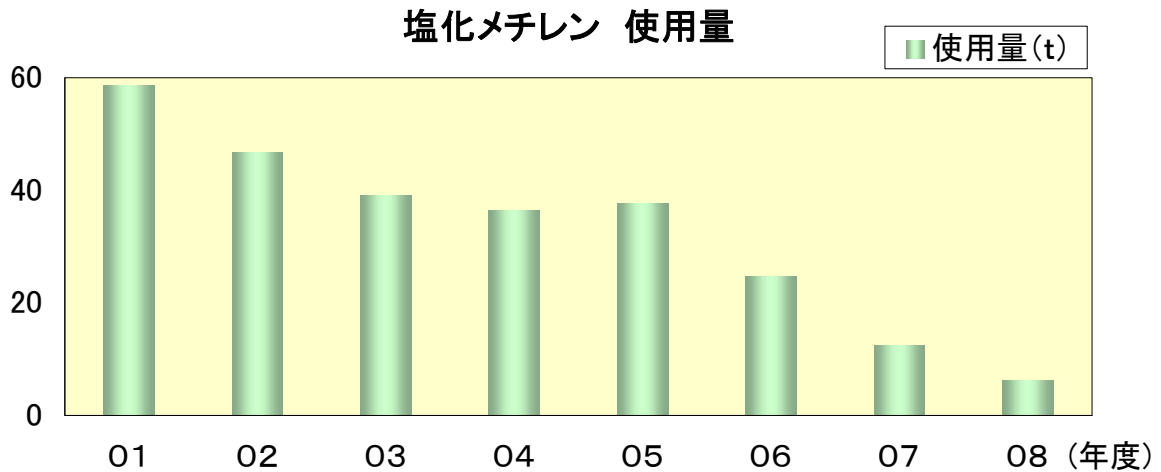
■環境負荷物質の使用量の削減

PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律第5条第2項)により当社が2008年度に届出が必要な第1種指定化学物質は、以下の物質でした。

- ①塩化メチレン<ジクロロメタン> (洗浄剤に含有。)
- ②キシレン (切削油、暖房用燃料、性能試験液、実験用燃料に含有。)
- ③トルエン (実験用燃料に含有。)

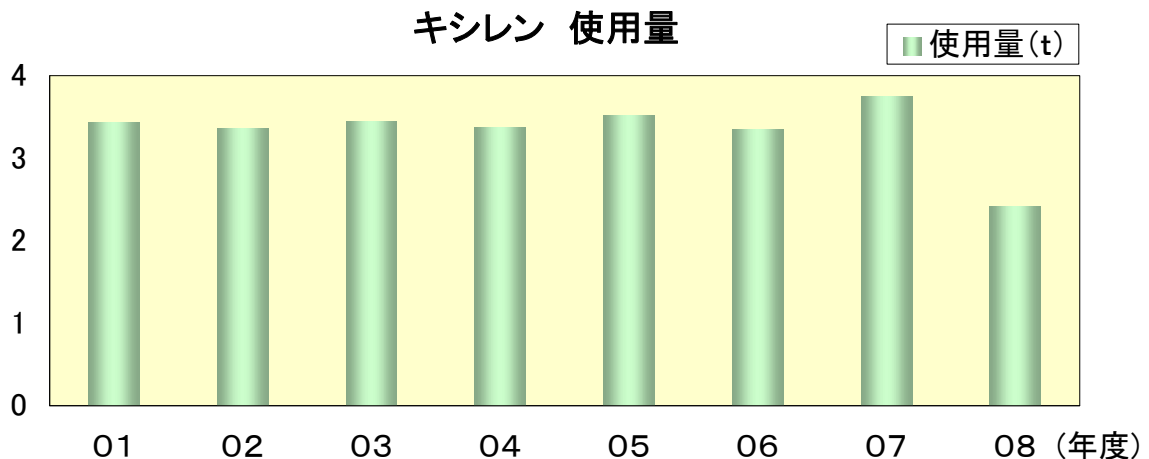
■塩化メチレン

2006年度に続き2008年度に洗浄設備を一部廃止し、代替洗浄剤を使用した新洗浄機を導入した結果、前年比約50%(約6t)の使用量を削減することができました。



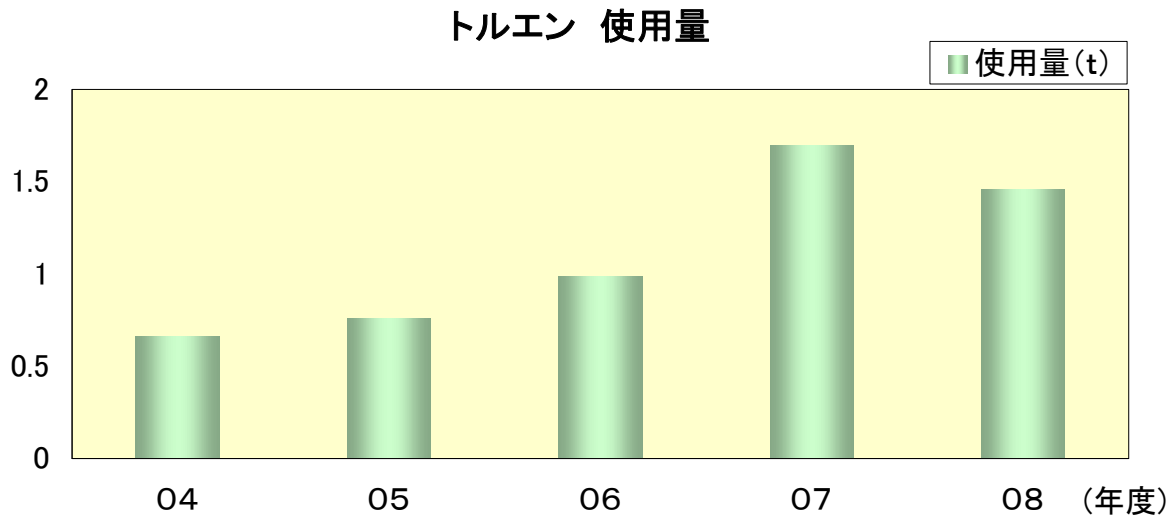
■キシレン

試験使用の削減や適正な空調管理等により、前年比 約35%(約1t)の使用量を削減することができました。



■トルエン

増加傾向でありましたが、実験用燃料の適正な使用法等により、前年比約14%（約0.2t）の使用量を削減することができました。



今後も引き続き、上記の物質だけではなく人体に有害な影響を与える可能性のある化学物質に対しては、適正な管理及び使用をするとともに、使用量削減活動に取り組んでまいります。

活動5: 環境に配慮した商品の提供

■ 環境配慮製品の開発促進

LPG・CNG・都市ガス使用製品を開発し、自動車関連製品及び住宅関連製品として市場に商品提供し、クリーンエネルギーの普及と温室効果ガスであるCO₂削減に寄与しております。

■ 環境配慮製品の販売奨励活動

昨年度より継続的に当社の環境配慮製品のひとつであるLPG燃料機器を装着したLPG車両（自動車、フォークリフト等）の販売奨励活動を推進しております。車両購入の税制面でのインセンティブ活用によりLPG車両（自動車、フォークリフト）の販売奨励活動を推進し、環境負荷の少ない車両の普及に努めてまいります。また、販売車種の拡大と商品PRにも努めてまいります。



■ ライフサイクルアセスメントの実施促進

製品の開発段階では、ライフサイクルアセスメント（製品のライフサイクル全体にわたる環境負荷を評価）の実施を行い、環境影響評価の取入れをし、環境に配慮し、環境負荷の少ない製品を開発することを目的に活動しております。

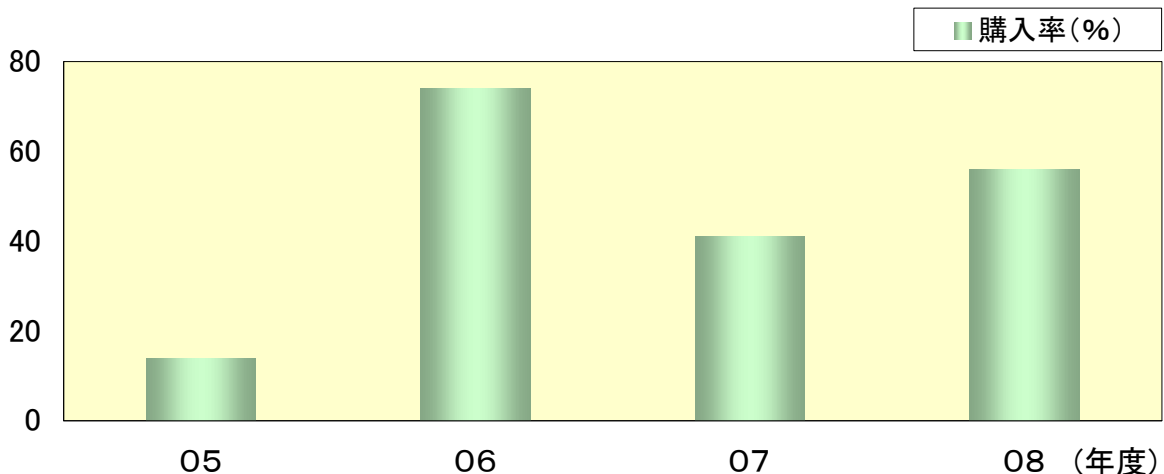
活動6:その他の活動

■グリーン購入・調達の推進

●グリーン購入率

グリーン購入は、各部署におけるグリーンマーク商品の購入率を2005年度(10.8%)より5%向上を目標に2006年度より活動をスタートいたしました。2008年度のグリーン購入率は、対基準年比15%向上を目標に活動し、金額ベースで56%(2005年度比約45%増加)にすることができました。

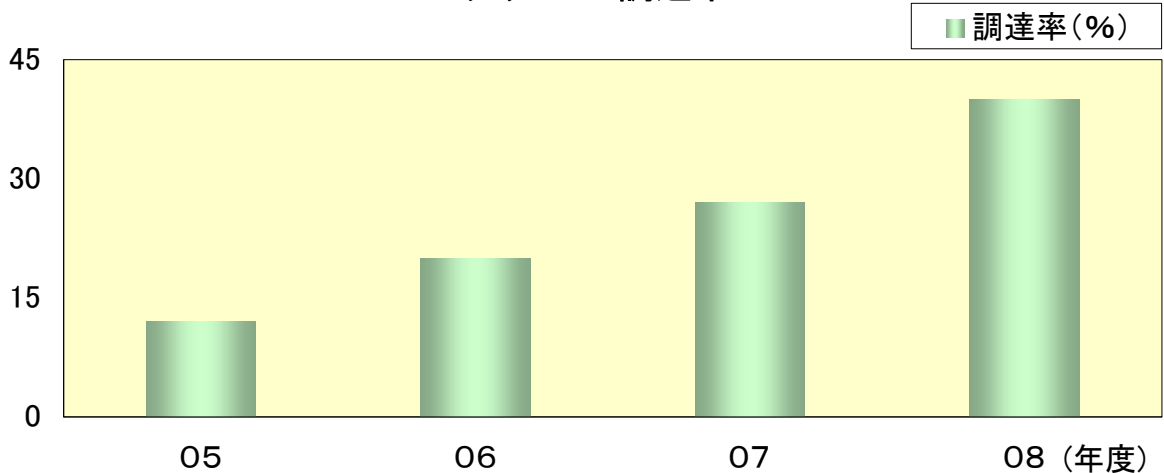
グリーン 購入率



●グリーン調達率

グリーン調達は、購買部における環境マネジメントシステム導入の協力企業からの調達率を2005年度(11.5%)比5%向上を目標に2006年度より活動をスタートいたしました。2008年度のグリーン調達率は、対基準年比15%向上を目標に活動し、金額ベースで40%(2005年度比約28%増加)にすることができました。

グリーン 調達率



また、協力企業に対する環境に関する表彰制度を設けており、サプライチェーンでのグリーン調達の促進の一助としております。2008年度は、1社を表彰させていただきました。

■環境保全教育の促進

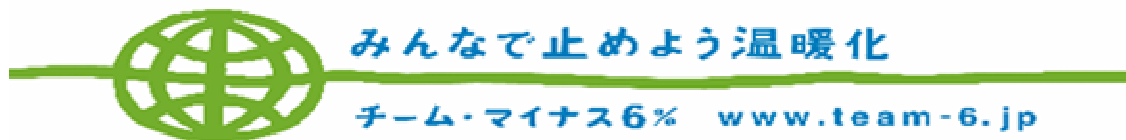
社内で就業するすべての要員に地球環境の現状、環境保護に関する知識及び取り組みの啓蒙を図るために環境自覚教育を実施いたしました。また、必要な要員には手順教育訓練及び専門教育訓練を実施いたしました。



■チーム・マイナス6%

当社は、2007年5月に環境省の推進する地球温暖化防止の国民運動「チーム・マイナス6%」に参加しました。「チーム・マイナス6%」とは、京都議定書に定める日本の目標、温室効果ガスの排出6%削減を目的とした国民的プロジェクトです。

当社は、「チーム・マイナス6%」が提案する温室効果ガスCO₂の削減について、具体的な6つのアクションに沿い、企業として活動を展開しております。



株式会社ニッキは、「チーム・マイナス6%」運動に賛同し、参加しています。

Act1: 温度調節で減らそう

■省エネ実施規準に基づく空調の管理活動

Act2: 水道の使い方で減らそう

■水資源の節約啓蒙活動

Act3: 自動車の使い方で減らそう

■アイドリングストップ運動の推進活動

Act4: 商品の選び方で減らそう

■環境配慮型商品の購入促進活動

Act5: 買い物とごみで減らそう

■分別徹底の推進による焼却ごみ削減活動

Act6: 電気の使い方で減らそう

■省エネチェックシートによる不要電気使用の削減

* * * * * 環境への取組み * * * * *

Nikki